

第 52 回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議東京大会 開催要項

－ 地域・時間をつなぐ新たな挑戦 －

私たち、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議は、アジア・太平洋戦争によって多くの都市が破壊され、尊い人命がおびただしく失われたことを忘れてはならないという強い思いを持って、全国で活動している団体や個人のゆるやかな連携を目的として1971年に生まれました。現在も犠牲となった方のお名前や人数を調査して記録に残したい、戦争の残酷な事実を知りたい、戦争や戦災の体験を次世代に伝えたいなど、様々な願いや思いを持ち、各地で活動しています。

会が発足した時期は、終戦間もなく始まった朝鮮戦争や東西冷戦、ベトナム戦争など、世界各地で戦争や紛争が発生し緊迫した状況でした。深い反戦の気持ちを胸に刻んでいた多くの方が危機感を持ち、平和を希求するための行動をとりましたが、半世紀を過ぎた現在も状況は良くなっているとはいえません。リアルタイムでもたらされる様々な情報は、ウクライナなど世界各地で継続されている戦争をますます身近に感じさせています。

一方で1970年代には、まだまだ生々しい、あるいは新しいと考えられていたアジア・太平洋戦争当時の記憶や資料は、80年近くの時を経て、現在ゆるやかに失われつつある状況です。新型コロナウイルス感染症の世界的流行の発生から3年を経た現在、その流れはさらに加速しています。

こうした有無をいわせない空間的な断絶や、いよいよ眼前に迫ってきた時間的な限界は、一方で新たな試みやつながり、戦後世代の新しい取り組みも生み出しつつあります。52回目にあたる本大会では、地域や時間の超越を目指すこの新しい挑戦をとりあげてテーマとしました。

本年、私たちは3年ぶりの対面での大会実行を目指すとともに、これまでに培ったオンラインでのつながりも大切にハイブリッド方式で下記のとおり開催いたします。お好みの方法でご参加ください。

2022年6月吉日

第52回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議
東京大会 実行委員長 猪原 千恵

【主催】

第52回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議・東京大会実行委員会

【全体プログラム】

- ◆8月26日（金）18:00～21:00 米軍資料の調査・活用に関する研究会

- ◆8月27日（土）09:00～12:00 米軍資料の調査・活用に関する研究会
- 13:00～14:20 基調講演
- 14:20～16:50 シンポジウム「地域・時間をつなぐ新たな挑戦」

◆8月28日（日）09:00～12:30 活動・自由報告

【開催方式】

大会に参加するには、「オンライン登録フォーム」

<https://onl.sc/rnzdLai>

に登録していただく必要があります。プログラムの詳細は以下をご覧ください。

対面方式会場（申込先着 100 名様まで）

東京女子大学キャンパス 東京都杉並区善福寺 2-6-1

26日会場 9号館(J棟) 9101号室

27日・28日会場 23号館(S棟) 23101号室

アクセス

<https://www.twcu.ac.jp/main/access/index.html>

キャンパスマップ

[https://www.twcu.ac.jp/main/about/campus/r08ji8000000035o-att/twcu_campusmap.p](https://www.twcu.ac.jp/main/about/campus/r08ji8000000035o-att/twcu_campusmap.pdf)

df

オンライン方式会場

Zoom を使用します。参加される方には、URL を別途送付致します。

【参加費とお支払い方法】

参加費 2,000円

- ・対面、オンライン方式とも3日間共通で、学生・大学院生の方は無料です。
- ・米軍資料研究会に対面で参加される方は、当日別途1,000円（『空襲通信』第24号1冊の代金を含みます。不要な方は200円となります。）

① 会場にご来場される方 会場受付にて現金でお支払いください。クレジットカードなど電子決済の対応はしておりませんので、くれぐれもご注意ください。

② オンライン方式のみで参加される方 Peatixで支払われる方は登録フォームから、お振り込みください。

Peatix登録フォーム <https://onl.sc/T9LhEsU>

※寄付金について 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議及び全国大会の運営のために、例年お志を頂戴しております。本年から、寄付金と参加費と一括でお支払いいただくこともできるよう、項目を設けました。これまでにない試みですが、ご賛同いただける方にはオンライン決済でご選択いただけるようにしております。

※オンライン参加は、8月26日まで申し込みを延長しております。対面は申し訳ありませんが、締め切らせていただきました。

【会場周辺での飲食について】

東京女子大学付近の飲食店は数がかぎられています。コンビニはありますが、昼食・飲料などはご持参されることをお勧めします。

【プログラム詳細】

◆8月26日（金）18:00～21:00

米軍資料の調査・活用に関する研究会

「日本の防空論 時局対応と対立」青木哲夫

「日本本土空襲の目標選択における作戦分析家委員会の役割」工藤洋三

「『男鹿半島B-29墜落事件』と『フライング・タイガース』」田中まこと

「硫黄島発のPB4Yによる東日本沿岸への攻撃」新妻博子

※発表順は変更することがあります。

◆8月27日（土）09:00～12:00

米軍資料の調査・活用に関する研究会のこれから・自由討論

2000年7月に開始した「米軍資料の調査・活用に関する研究会」は今年で23回目となりました。この間、主に日本本土空襲を対象にして年1度、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議全国大会に合わせて開催してきましたが、構成員間の研究交流・情報交換に大きな役割を果たしてきたと思います。近年日本側の資料のアーカイブも充実しこれらの資料を使った空襲研究も進んでおり、研究対象も日本本土空襲にとどまらないものが増えました。そこで、会の名称変更も視野に入れ、今後の会の運営について自由討論を行います。

◆ 8月27日（土）13:00～16:50

開会挨拶 第 52 回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 代表 今村修 13:00-13:05

第 52 回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議東京大会実行委員長

猪原 千恵 13:05-13:10

基調講演 「東京からウクライナへ～私たちは何を学び、記憶するのか」 13:10-14:20

長有紀枝さん（立教大学大学院教授，認定 NPO 法人 難民を助ける会（AAR）会長）

シンポジウム 「地域・時間をつなぐ新たな挑戦」

「地域別の空襲の概要を考えるプロジェクトについて—静岡県内の空襲を例に一—

（静岡プロジェクトグループ）14:20-15:00

「空襲オンライン学習会の取り組み」（牛田守彦）15:00-15:10

「仙台における爆撃中心点を示す銘板の設置とクラウドファンディング」

（佐藤陽子 仙台・空襲研究会）15:10-15:20

休憩 15:20-15:30

「地域に何を残して何を発信するのかー岡山空襲の証言動画の利活用を中心にー」

(木村崇史 岡山空襲展示室) 15:30-15:50

「体験記は時間をつなぐか

ー東京空襲を記録する会・体験記原稿入力プロジェクトから」 15:50-16:15

(1) プロジェクトの概要と意義 (山本唯人 法政大学)

(2) 空襲被害とは、爆撃を受けた瞬間のみなのかー体験記の原稿から読み取れたこと
(近藤杏佳)

質疑応答・書籍販売 (対面参加者のみ) 16:15~

◆ 8月28日 (日) 09:00-12:30

各地の活動・自由報告

事務連絡 09:00-09:10

「重慶空爆について」伊香俊哉 (都留文科大学) 09:10-09:30

「豊中空襲の記憶を記録する活動報告」

山東健 (豊中に平和と人権に関する資料館を求める会) 09:30-09:50

「東京大空襲・戦災資料センターにおける「継承者」育成事業について」

小園崇明 (東京大空襲・戦災資料センター) 09:50-10:10

「神戸空襲を記録する会の取組み」 小城智子 (神戸空襲を記録する会) 10:10-10:30

休憩 10:30-10:45

「静岡平和資料センター活動報告」 佐野明子 (静岡平和資料センター) 10:45-11:05

「日記が語る戦時中のくらしー大和村のはな子さんー」

梶原喜世子 (東大和市立郷土博物館) 11:05-11:25

「結成から20年を迎えてー平和の日の制定を中心に」

牛田守彦 (武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会) 11:25-11:45

まとめの質疑応答・書籍販売 (対面参加者のみ) 11:45~

※発表順・時間は多少変更される可能性がありますので、ご了承下さい。

【開催方式】

対面方式会場 (申込先着 100 名様まで)

東京女子大学キャンパス 東京都杉並区善福寺 2-6-1

オンライン方式会場

Zoom を使用します。登録フォームでオンラインを選択された方には、お支払い用のサイト（Peatix）のURL をお送りします。お支払いと同時に、ZoomURLが届くことになります。

以 上